

2022.4.1
日本銀行山形事務所

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き (2022年3月調査)

1. 業況判断

3月調査では、非製造業では小幅な改善となったものの、製造業が悪化したことから、全産業では0と前回調査から▲3ポイント悪化した。前回調査では悪化、水準は▲5を予測していた。

製造業・・・化学や輸送用機械では改善したものの、はん用・生産用・業務用機械や電気機械が悪化したことなどから、全体では2と前回調査から▲8ポイントの悪化となった。前回調査では悪化、水準は4を予測していた。

非製造業・・・対事業所サービスが悪化したものの、卸・小売や建設などが改善したため、全体では▲2と前回調査から2ポイントの改善となった。前回調査では悪化、水準は▲14を予測していた。

先行き(2022年6月予測)は、製造業、非製造業とも悪化するため、全産業では▲6と▲6ポイントの悪化を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2021年度(計画)は、製造業は前年度比6.1%の増収、非製造業は同3.1%の増収となり、全産業では同4.6%の増収計画。

前回調査との比較では、製造業(修正率▲1.2%)は下方修正されたものの、非製造業(同2.0%)が上方修正されたため、全産業では0.3%の上方修正となつた。

2022年度(計画)は、製造業は前年度比4.2%の増収、非製造業は同2.5%の増収となり、全産業では同3.3%の増収計画。

(2) 経常利益

2021年度(計画)は、製造業は前年度比 57.4%の増益、非製造業は同▲18.4%の減益となり、全産業では同 29.4%の増益計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率 4.9%）、非製造業（同 21.5%）とも上方修正され、全産業では 8.4%の上方修正となった。

2022年度(計画)は、製造業は前年度比 0.1%の増益、非製造業は同 23.2%の増益となり、全産業では同 5.5%の増益計画。

3. 設備投資額（含む土地投資額）

2021年度(計画)は、製造業は前年度比 7.0%、非製造業は同 90.2%の増加となり、全産業では同 55.6%の増加計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率▲41.9%）、非製造業（同▲1.3%）とも下方修正され、全産業では▲17.7%の下方修正となった。

2022年度(計画)は、製造業が前年度比 83.5%の増加となるものの、非製造業が同▲62.1%の減少となるため、全産業では同▲20.4%の減少計画。

4. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業、非製造業とも「不足」超幅が拡大し、全産業の「不足」超幅は▲37と前回調査比「不足」超幅が拡大した。

先行き（2022年6月予測）も、製造業中心に「不足」超幅は小幅な拡大予測。

以 上